

四国大学提供講座「社長塾」



第1講

(株)シケン
(備科技工物の製造・販売)
代表取締役
島 隆寛 氏

「理念・指針を掲げる理由」

同友会に入会して企業経営における理念の大切さを学び「経営指針を創る会」を受講しました。経営理念こそが企業の目的や願いであり、理念を掲げることで理想に近づくことができます。シケングループの経営理念は、共育ち精神です。社内だけでなくお客さまと共に成長できるパートナーを目指し、毎年行っている方針発表会では10年後ビジョンを明確にすることで社員との共有を図っています。

皆さんは人生指針を考えたことがありますか？「何のために」という目的と「こうなりたい」という目標を持つことで、考え方や行動も違ってきます。大切にしている価値観・人生観や社会における役割などを統合して人生指針を作り、社会人生活の柱にしてみてください。社長塾の講師に共通していることは経営理念を作り上げ、そこに向かってブレずに経営していることです。今思いつかなくても、社長塾を通してじっくり考え、就職活動にも役立てて欲しいと思います。



第2講

徳島県中小企業家同友会
(経営者団体事務局)
事務局長
佐々木 雅信 氏

「中小企業家同友会の歴史と、目指す経営者」

1996年、徳島県中小企業家同友会は全国にある同友会のうち42番目に設立しました。

戦後復興期のインフレにより労資紛争が起こる中、自主的で平和的な発展を目指し、人間対人間という位置づけでやっといこうと「労資」を「労使」に書き換えました。中小企業における労使関係の見解(労使見解)は、労使の信頼関係こそが企業発展の原動力だとする企業づくりの基本文書で、中小企業家同友会の存立基盤そのものです。その後、同友会では経営指針成文化運動へと発展し、経営理念・経営方針・経営計画を社員と共有しようという動きになりました。

社長塾の講師はこの労使見解を踏まえた経営をしようとして頑張っている経営者の方々です。会社は“人”で成り立っているといっても過言ではありません。経営者として何をを目指すのか。人間を大切に、信頼し、高めていく、そんな基本的な経営者の姿勢を是非学んでください。



第3講

佐藤デザイン工房
(WEB、イメージキャラクター、
グラフィック等デザイン)
代表 佐藤 あすか 氏

「仕事と人生を支える『根っこ』」

デザインを通してお客様の思いを形にする仕事をしています。起業した当初は売り上げこそが実力を計るものさしだと勘違いしていました。同友会と出会い、経営指針実践塾を受講したことで、温かくも厳しい助言により自分が母親であることを認められるきっかけになりました。あたたかさ、平和感こそが自分の強みであり、経営にとって大事な「根っこ」の部分だと気付きました。

一人ひとりが「何のために」という明確な目的を持ち、しっかりと根を張り木を育てることで、幸せな未来へと繋がっていきます。売り上げや会社の規模を示す葉っぱや枝の部分が立派でも、根っこが健康でなければ木は折れてしまいます。皆さんは葉っぱや枝の部分を大きくすることが目的になっていませんか？社長塾の全講義が終わる頃には、自分の理念を作るのだという意気込みを持って受講してみてください。どう進め、どんな葉っぱを茂らせればよいのか分かり、前を向いて歩けると思います。



第4講

(株)サンフォート
(マクドナルドフランチャイズ)
代表取締役
山城 真一 氏

「経営理念の実践と社員の成長で危機を乗り越える」

大学卒業後マクドナルドの直営店に入社し、本社で12年間経営を学んだ後、独立制度を使って徳島で起業しました。創業当初は採用に悩むこともなく、社員は兵隊だと思っていました。しかし同友会で労使見解について学んだことで、社員はパートナーであるという考えに変わりました。

近年、創業以来最大の危機に見舞われましたが、決して会社をつぶさない、誰一人としてリストラしないという決意で乗り切りました。社員もこの困難を乗り越えたことで大きく成長してくれました。理念の実践と社員の成長により売上・利益が回復したと断言できます。苦しい時にどうふるまうかで会社のあり方が問われます。これからも社員と共に良い会社にして、徳島の発展に貢献していきたいと思えます。

「何のために」と考える習慣をつけてください。毎日自分に問いかけ生きることが、人生を成功に導く大きな秘訣だと思います。私は「100年続く企業」を目指すため、経営理念に基づいた経営をし、経営者として学び続けたいと思います。

四国大学提供講座「社長塾」



第5講

生活協同組合とくしま生協
(共同組合)

理事長
梶原 樹 氏

「大切にしていることと
トップとしての想い」

とくしま生協は1984年に誕生しました。宅配事業では県内各地隅々まで毎日150台のトラックが走り、地域に根差した運営を行っています。店舗事業では、鮮度・おいしさ・正直でぬくもりのある店舗を目指し追求し続けています。また関連会社と協力し、障がい者雇用にも力を入れています。

同友会と出会い経営指針実践塾を受講して、3年前に経営理念を作成しました。とくしま生協の組合員になって良かった、就職して良かった、徳島に生協があつて良かったと、県民の皆さんから広く愛されるような企業を目指しています。職員同士の「ありがとう」の声を広げ、職場風土が良くなることで職員が笑顔になり、商品を買ってくれた組合員さんが笑顔になり、その商品を食べる家族が笑顔になる。そんな笑顔とありがとうの輪を、もっと広げていきたいと思ひます。

幸せな生活を送りたいというのは皆さんの共通の願いだと思います。どれだけ人に幸せを与えられるかが、自分自身の幸せに繋がると思ひるので、これからの人生を大事に過ごしてください。



第6講

(株) 龍王
(生コンクリート製造、販売)

經理
金田 知奈美 氏

「自分の地図を
手に入れた者勝ち!？」

弊社は生コンクリートを製造・販売している会社です。世代交代の際、新しい考え方を社員さんに分かってもらえるのか不安に思っていた頃、同友会と出会い入会しました。経営指針実践塾を受講し、創業当初からの社風を踏まえて経営理念を作成しました。まずは自分自身を認め、人としての学びを大切にすることで、企業としても成長すると確信しています。

学生のころは就職に対して漠然と考えていましたが、就職してから学生時代の経験が仕事と結びつくことに気がきました。学生の頃から自分の地図を持っていれば、もっと成長するのが早かったのではないかと思います。やりたいことを見つけるためアンテナをはり、皆さんはなるべく早いうちに「自分の地図」を手に入れてください。できれば一本道ではなく、色んな道を書き足して欲しいと思ひます。自分の地図は自分の理念、会社の地図は会社の理念、この2つの目的が近いと楽しい旅ができると思ひます。今日の講義での気付きを何か1つでも持ち帰ってもらえると嬉しいです。



第7講

アール・エスホーム(株)
(アイフルホームFC、戸建住宅の販売・施工)

代表取締役
多田 穰治 氏

「これからあなたが
何を成すのか」

家づくりは一生の買い物です。私の原動力はとにかく喜んでもらうことで、夢を任せたいと思われる仕事だからこそ、人生の大切な時間をかける価値があると思ひます。

命には限りがあります。学生時代にも限りがあり、得にこの時間は一生の宝物です。自分の可能性を信じて、人生に対するビジョンや志をしっかり持ってください。人生は自らでつくるのだという強い決意で、決断したことには自分自身で責任をとることが大切です。学生の中に様々な成功経験を積むことが自信となり、有利な就職活動に繋がっていくのだと思ひます。

私は「日本一の顧客満足を生み出す企業になる」という強い思いで仕事をしています。自分の使命に気付いたことで、ようやく人生が動き始めたような気がします。お客様から感謝され、その言葉を受けて感動する社員を育てていくことが経営者としてのやりがいで、命をかける価値を感じています。皆さんも自分なりの使命を持ち、あなたの魅力で徳島を輝かせてほしいと思ひます。



第8講

(株) 小林ゴールドエッグ
(鶏卵卸業)

代表取締役
小林 真作 氏

「弱みを強みに変える」

弊社は、たまごを通しておいしさ・健康・繁盛を提供している鶏卵卸業の会社です。先代である父が突然他界し、事業を継承しました。不況とも重なって売り上げは下がり、社内の雰囲気は悪くなっていました。しかし、経営理念を成文化する過程で、突然たまごが健康で魅力的であることに気がきました。農場ごとに品質がバラバラで今まで自社の弱みだと思っていたことが、多様性があるという強みに変わり、自社は宝の山であることに気がきました。

お客様視点の商品開発と商品研究をし、美味しさ(価値)を提供することで、オンリーワン企業になれると思ひました。新しいことを始めたのではなく、昔からやってきたことを磨き直して伝え方を変えることで、仕事が楽しくなりました。

将来、仕事に対してどんな価値を作るのかは、職種ではなく皆さん次第です。どの仕事も突き詰めると「人を幸せにする」ことだと思います。自分の仕事誰かの幸せに繋がっているのだと思ひ気持ちを、忘れないでください。

四国大学提供講座「社長塾」



第9講

(株) 桶幸ウチダ造花
(葬祭業、仏壇・仏具等販売、花壇)

取締役部長
南 智子 氏

「何のために学ぶのか、
何のために働くのか」

昔に比べて、最近ではお葬式の簡素化が進んでいます。どのようにご家族の方を見送りたいのかという、一番大事な部分の意識が低くなっているような気がします。

私は大学時代に社会福祉を専攻し、地域のあり方が変わってくると学んだことで、継ぐことをためらっていた家業が大切な仕事であると見直すきっかけになりました。しかし仕事を手伝うようになって「何のために」と考えたことはありませんでした。同友会と出会い、経営指針実践塾を受講する中で、家業の素晴らしさと、お葬式の本質が人間としての尊厳であることに気付きました。お葬式を通じて故人の人生が輝き、そこに集う遺族や関わりのあった人たちの人生も輝く、そんな時間を作っていかなければならないと思います。地域があるから会社があると思えるようになり、感謝の思いから地域清掃や終活講座なども行っています。

勉強した先にあるのが「学び」で、人の役に立っていると実感できるときに自分の存在価値を感じるのだと思います。目標とする理想の自分を掲げ、学生時代の残り少ない時間をどのように学んでいくのか大切にしてください。



第11講

(株) 姫野組
(総合建設業・バナホーム代理店)

取締役常務執行役員
姫野 敬行 氏

「役に立つ」という
意味について」

建設業が造るインフラは、全ての産業や暮らしを支える社会の基礎構造で、経済成長や競争力を生み出し、暮らしに安全・効率・快適を齎します。ドイツとの比較で分かるように、人口減少・高齢化局面の日本が経済発展を続ける為には、効率的に経済社会活動を可能とする基礎構造が必要です。

当社は創業明治15年、入社後すぐの民事再生で、多くの方に迷惑をかけながらも支えて頂いた結果、今があります。会社が継続的に発展し社会に役立つ為には理念に基づいた経営が不可欠です。「地域に生まれ、還元する企業」を理念に、本業の研鑽とCSRに基づく活動に注力しています。

資本主義社会では、創造される付加価値が豊かさの源泉です。会社は(コスト以上の)付加価値の創造で社会に役立つ、社会人は会社の価値創造への貢献で社会に役立ちます。新入社員の給与は付加価値の還元というよりも将来への投資であり、価値創造への貢献意識が大切です。やがて皆さんも先輩となって、後輩たちへの投資を支える立場になるのです。



第10講

(有) 四宮蒲鉾店
(水産練製品の製造、販売)

代表取締役
的 石 勝美 氏

「200年続く
企業を目指して」

創業176年、漁師町である津田町で蒲鉾店を営んでいます。入社した頃は仕事を楽しみと思えなくて、仕事よりも趣味に重点をおく生活をしていました。世間では生魚から冷凍すり身へと移行し、大手企業との価格競争が強いられるようになっていました。そんなある日、市場関係者から徳島の生魚と砂糖・塩だけを使った蒲鉾作りの依頼がありました。試行錯誤しながら1年かけて作り、徐々に売り上げが伸びていた頃、重度アレルギーの子供を持つ母親が「生まれて初めて蒲鉾を食べることができた」と東京からお礼を言うために来店してくれました。そのことがきっかけで仕事楽しくなり、無添加で安心安全な商品を作ろうと決意しました。

生魚を使うことは自社の弱みだと思っていましたが、冷凍すり身が出回り、生魚を扱う業者が減ったことで、逆に自社の強みとなりました。強みと弱みは紙一重で、いつ一転するか分かりませんが、弱みを強みに変えると見方が変わってきます。

今後、皆さんは様々な困難に遭遇すると思いますが、それを強みだと捉えることができる人になって欲しいと思います。



第12講

アートウッド
(人口木材 Eee-Wood のネット販売)

店長
高尾 佳伸 氏

「20代にしておきたい
7つのこと」

後悔しない人生を送るために、若いうちに経験すると良いと思うことを、自分の経験を交えてお伝えします。

①20代は失敗しても許される年代です。失敗から学ぶことはたくさんあるので、自ら責任をもって行動し何事にもチャレンジしてください。②本を読むなど、ビジネスや人生において大切なことを学び、とにかくインプットしてください。③自分の限界まで挑戦し、なるべく早いうちに苦手なものを克服してください。④一流の人や物に接してください。今後の過ごし方が変わってきます。社長塾では経営者の話を真剣に聞くことで、確実にレベルが上がっています。⑤色々な場所を旅し、異文化や最先端の技術に触れてください。⑥専門分野を見つけ、これだけは負けないというレベルまで極めてください。⑦人生のゴールを見つけてください。方向性が決まり、ブレない人生を送ることができます。

数十年後に「今の自分に戻りたい」と思うことを想定すると、今の行動は変わってきます。失敗しても叱られても、次があるという意気込みを持ち続けてください。

四国大学提供講座「社長塾」



第13講

(株)庄の屋
(建設業、建設材料小売り)

代表取締役
庄野 章夫 氏

「26年前に社会人デビュー
した経営者からのエール」

父が創業した(株)庄野建材店に入社した頃は、経営指針がなく社内は荒れた状態でした。社長就任後、経営理念を作成し、毎年全社員で経営指針書を更新・発表することで売上がV字回復しました。今年6月には(株)庄の屋に社名変更し、建材店という束縛を無くしたいと思っています。

経営者として、社員との目線の高さを合わせる、楽しくきっちり仕事をする、座標とベクトルの向きを常に意識する、そして社員に声をかけて朝一番の空気を作ることを心掛けています。会社や世の中のためになりながら自分の成長に繋がっているコトがやり甲斐であり、社員の成長は経営者としてこれ以上ない幸せです。

就職活動において実際に働く社員さんが楽しく仕事をする姿は、将来の自分を見るものさしになります。報酬をもらいながら生きた勉強ができるのが仕事で、学ぶことで失敗は教訓となり、試練を乗り越えるたびに自信と余裕が増えてきます。社長塾での経営者の生の声を糧に、残りの大学生活を楽しみながら成長し、澁刺系新社会人になって下さい。

討論テーマ一覧

- 第1講 どんな理念を持って社会人生活を送りますか？
- 第2講 あなたが企業を見るポイントはどこですか？
- 第3講 あなたの「根っこ(大切にしている価値)」は何ですか？
- 第4講 何のために四国大学で学ぶのか？
- 第5講 どんな人生を歩んでいきたいか？
大事にしていきたい生き方は？
- 第6講 あなたは、「自分の地図」を手に入れていますか？
手に入れるために頑張っていることは何ですか？
- 第7講 余命半年と宣告されたら、今日から何をしますか？
- 第8講 あなたは、どんな「価値」を創る社会人になりますか？
- 第9講 あなたの目指す社会人像(大人像)にむけて、
明日からどのような行動を心がけますか？
- 第10講 あなたの弱み、強みは何ですか？
それをどう入れ替えますか？
- 第11講 社会人になって、どのように社会の役に立ちたいと
考えていますか？
- 第12講 人生のゴール(最終目標)はありますか？
- 第13講 10年後に、どんな社会人となっていますか？
どういった20代を送ろうと考えていますか？
- 第14講 社長塾で学んだことは何ですか？
それを今後の人生でどう活かしますか？

